

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名		公共下水道普及促進事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	050501000116
					単独/補助	単独	所属課	070101
政策体系	総合計画の施策名	0505 下水道の整備					課長名	下水道課
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり					グループ	下水道G
	施策名	05 下水道の整備					担当者名	
	手段名	01 ①下水道の接続と浄化槽の設置						
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (平成17年度~)	
法令根拠					桜川市公共下水道事業接続工事費補助金交付要項			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	公共下水道事業により公共下水道延伸工事を実施し、普及区域を拡大しているため、供用開始区域を対象に広報活動や接続キャンペーン、戸別訪問等を実施し接続率の向上を図り、使用料収入の増加を目指す。		<ul style="list-style-type: none"> 実施計画の作成し接続推進戸別訪問を行う。 対象者を抽出し、公共下水道お知らせ通知を発送する。 実施計画を作成し下水道接続キャンペーンを実施する。実施の様様をHP、市の広報誌等で公開し、事業について周知する。 交付要綱に従い、対象者に公共下水道接続工事費補助金を交付する。 実施計画を作成し、市イベントにPRブースを出店し啓発活動を実施する。 市内小学校に下水道出前講座の案内を行い、希望する学校と日程調整のうえ、県西浄化センターによる下水道出前講座を開催する。 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)			
			戸別訪問件数	件	200.00	0.00	200.00	200.00	0.00	
			広報誌掲載回数	回	2.00	1.00	2.00	2.00	0.00	
公共下水道キャンペーン企画 (戸別訪問含む) 市民祭に下水道のPRの実施、下水道出前講座の開催、小学校11校対象			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			キャンペーン実施回数	回	2.00	1.00	2.00	2.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)			
			未接続世帯	件	1,163.00	1,105.00	950.00	900.00	0.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
公共下水道供用開始区域で下水道未接続の世帯、事業所			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)			
			新規接続世帯	件	51.00	71.00	80.00	80.00	80.00	
			接続世帯(累計)	件	1,496.00	1,552.00	1,600.00	1,650.00	0.00	
下水道に接続する			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	8,950	0
		県支出金 千円	6,035	8,896	7,850	0
		地方債 千円	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0	0
		その他 千円	0	0	0	0
		一般財源 千円	888	660	1,175	0
		事業費計(A) 千円	6,923	9,556	17,975	0
	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	1.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)		
	18 負担金補助及び交付金	9,556	17 備品購入費	75	
			18 負担金補助及び交付金	17,900	
		合計	9,556	合計	17,975

事務事業名	公共下水道普及促進事業	事務事業No.	50501000116	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成18年度に県下水道課から、桜川市の下水道接続率が他市町村と比べ低い指摘があり、接続キャンペーンを実施することになった。併せて戸別訪問も実施した。接続工事補助金を拡充し周知を行った。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 軽快で住みやすい町になってきている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 多くの世帯・事業所に接続することは、市民の生活環境が改善され、公共用水域の水質改善に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 下水道法に供用開始区域は下水道へ接続しなければならない規定があり、市においても接続推進をしなければならない。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 未接続へは、訪問等により接続義務の理解を求め、接続工事費補助制度を活用し負担の軽減を図っている。今後は、戸別訪問の対象者を絞って効果的な接続促進を実施していく。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 接続促進を行政が率先して行わなければ、接続率の向上はない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 未接続者への接続促進事業であり、目的と対象が明確であるため、他の事業との統廃合と連携はできない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 接続率を上げ、使用料を恒久的に得るためには多少の事業費で補助金の支出はやむを得ない。接続工事費補助金の拡充は10割県補助で賄われる。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である この事業は、広報活動と未接続者への職員訪問が中心となるものであり、受益者負担は公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	本事業は、公共下水道への接続率を向上させることを目的としており、平成30年度より制度を大きく拡充しました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、戸別訪問が実施することができませんでしたが、広報活動及び、窓口での推進を強化し、前年度より接続率が向上しました。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>